



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 トランス・コスモス株式会社
コード番号 9715 URL <https://www.trans-cosmos.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 奥田 昌孝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員本社管理総括 経理財務本部長 (氏名) 野口 誠

TEL 050-1748-0265

四半期報告書提出予定日 2020年11月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	163,734	7.8	8,485	85.7	8,677	99.0	5,569	66.2
2020年3月期第2四半期	151,945	10.4	4,569	185.6	4,359	107.1	3,351	36.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 7,073百万円 (347.7%) 2020年3月期第2四半期 1,580百万円 (79.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第2四半期	134.27	
2020年3月期第2四半期	80.80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期第2四半期	167,007	83,074	47.2	1,900.40
2020年3月期	143,985	77,969	51.5	1,788.95

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 78,818百万円 2020年3月期 74,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		0.00		46.00	46.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】P.3'(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明に記載しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	48,794,046 株	2020年3月期	48,794,046 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	7,319,322 株	2020年3月期	7,319,064 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	41,474,890 株	2020年3月期2Q	41,475,204 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料は2020年10月30日(金)に当社ウェブサイトに掲載します。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、世界規模で拡大する新型コロナウイルス感染症に伴い、外出自粛や休業要請、緊急事態宣言の発出などの影響により、個人消費や企業活動が著しく制限され、急速に景気が悪化しました。一部で持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たない中、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが展開するサービスを取り巻く環境は、労働人口の減少、IoT・AIをはじめとしたデジタル技術の進展などを背景に、引き続き、業務の効率化やコスト競争力の強化、売上拡大などに繋がるアウトソーシングサービスの需要が拡大しています。また、企業経営を取り巻く環境は大きく変化しており、新しい働き方として急速に普及しつつあるテレワークをはじめとした新たなサービス需要も顕在化しつつあります。

このような状況の中、当社グループは、引き続き、デジタルトランスフォーメーションパートナーとして企業の経営、事業の変革を支援するDEC・BPOサービスを積極的に展開し、受注の増加に繋がりました。また、国内外におけるサービスの競争力強化や、顕在化する新たな需要・ニーズに対応すべく、引き続きデジタル技術などを活用したサービスの展開やサービス体制の強化に取り組みました。

具体的には、国内においては、長年培ったノウハウとデジタルツールをもとに新たに設計した運用フローで生産性・品質の維持を実現する「在宅コンタクトセンターサービス」の提供を開始しました。当社の国内最大級のコンタクトセンター環境をそのまま在宅化することで強固なセキュリティを担保しながらも事業継続性を高め、コンタクトセンターの在宅化をさらに強化・推進します。また、お客様企業のWebサイト運用を強力にサポートする当社独自のSaaS型デジタルマーケティングプラットフォーム「DEC CMS (デック シーエムエス)」において、新たにLINEのメッセージ配信機能の提供を開始しました。これにより、Webサイト運用とLINEのメッセージ配信の管理画面を統一化し、コンテンツ一元管理およびユーザー属性の共通利活用によるOne to Oneコミュニケーションの実現など、運用効率とマーケティング効果の最大化を支援します。また、カナダのDash Hudson社が開発・提供する画像解析AIをコアとしたインスタグラム統合ソリューション「Dash Hudson」の日本国内における独占販売契約を締結しました。本ソリューションを活用してお客様企業やブランドのインスタグラムのフォロワー数獲得やエンゲージメント率向上とソーシャルコマースを支援します。さらに、出張・経費管理ソリューション「SAP Concur」を提供する株式会社コンカーとアウトソーシングパートナー契約を締結しました。これにより、お客様企業の経費精算にかかわる業務のデジタル化を推進し、業務効率化の実現を支援していきます。

海外では、中国において、中国子会社が世界的に有名な水栓器具メーカーのMOEN (モーエン) と戦略的業務提携に合意しました。今後、協力関係の構築により、中国最大のECモールであるTMALLに出店しているモーエン家居旗艦店の業務をサポートしていきます。またマレーシアでは、クアラルンプールにオペレーションセンターを併設する第二拠点を開設し、マレーシア国内向けのサービス提供体制の見直しと強化を図りました。また米国では、米国子会社がZenrin USA, Inc. (ゼンリンUSA) と協業し、同社がもつビッグデータを活用したダイレクトマーケティングと、当社グループが米国向けサービス提供で培ってきたコンテンツマーケティング、コンタクトセンターのノウハウを活用し、ウィズコロナ時代のB2B営業支援サービス「D!G!Sales (デジセールス)」の提供を開始しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高163,734百万円となり前年同期比7.8%の増収となりました。利益につきましては、売上高の増加および収益性の改善などにより、営業利益は8,485百万円となり前年同期比85.7%の増益、経常利益は8,677百万円となり前年同期比99.0%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,569百万円となり前年同期比66.2%の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(単体サービス)

当社におけるアウトソーシングサービスの需要拡大などにより、売上高は118,287百万円と前年同期比6.2%の増収となりました。セグメント利益は、既存の大型業務の採算性改善や大型スポット業務の獲得などにより、5,699百万円と前年同期比70.4%の増益となりました。

(国内関係会社)

国内関係会社につきましては、主に前第3四半期連結会計期間から一部子会社を連結の範囲に含めた影響や、受注が好調に推移したことなどにより、売上高は18,872百万円と前年同期比47.9%の増収となり、セグメント利益につきましては、一部上場子会社の収益性改善などにより1,700百万円と前年同期比94.7%の増益となりました。

(海外関係会社)

海外関係会社につきましては、主に東南アジアにおける受注の増加により、売上高は32,568百万円と前年同期比0.2%の増収となりました。セグメント利益については、中国、韓国子会社を中心に収益性が改善し、1,078百万円と前年同期比206.9%の増益となりました。

なお、セグメント利益につきましては、四半期連結損益計算書における営業利益をベースにしております。

(新型コロナウイルス感染拡大に関する当社グループへの影響)

新型コロナウイルス感染拡大に関する当社グループへの影響は、依然として不確実性が高いものの、外出やイベント・キャンペーンの自粛など行政機関からの指示・要請や、感染拡大防止、従業員の安全確保を最優先とした対策などに伴い、新規案件の減少や一部既存業務の縮小、オペレーションセンターの一時的な稼働率低下といった影響が発生しつつあります。その一方で、行政機関をはじめとした新型コロナウイルス対策関連業務の支援に繋がるサービスや、企業の業務プロセスのデジタルシフト支援を通じた在宅ワークの普及促進、事業継続、ECをはじめとする非接触販売チャネルの拡大などを支援するサービスなどにおいて引き合いが増加しています。

引き続き、社内外への感染拡大の防止と従業員ひとりひとりの安全確保を最優先とした上で、当社が担っている社会的責任をできる限り果たしていきます。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて23,022百万円増加し、167,007百万円となりました。主な要因は、当社における借入金の増加による「現金及び預金」の増加や「受取手形及び売掛金」の増加などです。

負債の部につきましては、当社における新規借入による「長期借入金」の増加などにより、前連結会計年度末に比べて17,917百万円増加し、83,932百万円となりました。

純資産の部につきましては、5,105百万円増加し、83,074百万円となり、自己資本比率は47.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ1,344百万円収入が増加し、2,530百万円の収入となりました。この主な要因は、「税金等調整前四半期純利益」が増加したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ1,097百万円支出が増加し、4,023百万円の支出となりました。この主な要因は、「投資有価証券の売却による収入」が減少したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において13,565百万円の収入（前年同期は3,620百万円の支出）となりました。この主な要因は、「長期借入れによる収入」が増加したことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、前連結会計年度末に比べて11,762百万円増加し、46,683百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期については、いまだ新型コロナウイルス感染の収束時期や感染拡大による影響が全く見通せず不透明感の強い状況にありますが、引き続きお客様企業の売上拡大・コスト最適化といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、アジア市場を中心としたグローバルで事業展開を加速させ、前期実績を上回る業績を確保することを目指します。

なお、当社グループの事業は、あらゆる業種・業界のお客様との取引で成り立っており、変化の激しい経済環境の中、短期的な視点で企業活動の動向を見極めることは大変困難であります。よって、当社グループの2021年3月期連結業績予想については、合理的な算定ができないため記載しておりません。

また新型コロナウイルスの感染拡大の影響が長期化することで、当社グループのオペレーションセンターの閉鎖・縮小、さらなる企業活動の自粛に伴うサービスの需給バランスの崩れなどによって、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,012	46,877
受取手形及び売掛金	49,793	54,796
商品及び製品	4,420	4,302
仕掛品	1,088	1,112
貯蔵品	56	176
その他	6,954	7,798
貸倒引当金	△403	△288
流動資産合計	96,922	114,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,486	5,675
工具、器具及び備品（純額）	4,390	4,728
土地	825	820
その他（純額）	977	957
有形固定資産合計	11,679	12,182
無形固定資産		
のれん	778	931
ソフトウェア	2,806	2,866
その他	729	692
無形固定資産合計	4,314	4,490
投資その他の資産		
投資有価証券	7,196	9,660
関係会社株式	5,506	9,934
関係会社出資金	6,092	1,057
繰延税金資産	2,183	3,876
差入保証金	9,289	10,136
その他	1,088	1,182
貸倒引当金	△288	△287
投資その他の資産合計	31,068	35,560
固定資産合計	47,062	52,232
資産合計	143,985	167,007

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,808	11,885
短期借入金	3,057	2,560
1年内償還予定の社債	28	28
1年内償還予定の転換社債型 新株予約権付社債	10,007	10,002
1年内返済予定の長期借入金	83	79
未払金	6,809	6,104
未払費用	14,512	14,763
未払法人税等	3,151	4,858
未払消費税等	4,830	4,592
賞与引当金	4,766	5,448
その他	3,377	4,206
流動負債合計	63,432	64,529
固定負債		
社債	114	100
長期借入金	142	16,292
繰延税金負債	895	1,413
退職給付に係る負債	295	308
その他	1,136	1,288
固定負債合計	2,583	19,403
負債合計	66,015	83,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,065	29,065
資本剰余金	17,778	17,779
利益剰余金	41,061	44,707
自己株式	△15,236	△15,236
株主資本合計	72,669	76,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,204	5,060
為替換算調整勘定	△1,677	△2,558
その他の包括利益累計額合計	1,527	2,502
新株予約権	3	3
非支配株主持分	3,769	4,253
純資産合計	77,969	83,074
負債純資産合計	143,985	167,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	151,945	163,734
売上原価	126,217	131,673
売上総利益	25,727	32,061
販売費及び一般管理費	21,157	23,575
営業利益	4,569	8,485
営業外収益		
受取利息	62	56
受取配当金	13	7
助成金収入	62	273
その他	79	145
営業外収益合計	218	483
営業外費用		
支払利息	24	50
持分法による投資損失	211	55
為替差損	34	16
その他	158	169
営業外費用合計	428	291
経常利益	4,359	8,677
特別利益		
投資有価証券売却益	1,540	107
持分変動利益	13	242
その他	65	105
特別利益合計	1,619	455
特別損失		
減損損失	21	77
段階取得に係る差損	47	—
その他	83	52
特別損失合計	151	130
税金等調整前四半期純利益	5,827	9,002
法人税、住民税及び事業税	2,381	4,709
法人税等調整額	△149	△1,819
法人税等合計	2,231	2,890
四半期純利益	3,595	6,111
非支配株主に帰属する四半期純利益	244	542
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,351	5,569

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,595	6,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△866	1,845
為替換算調整勘定	△813	△475
持分法適用会社に対する持分相当額	△335	△407
その他の包括利益合計	△2,015	962
四半期包括利益	1,580	7,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,323	6,544
非支配株主に係る四半期包括利益	256	529

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,827	9,002
減価償却費	1,197	1,432
減損損失	21	77
のれん償却額	66	89
無形固定資産償却費	467	513
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	△107
賞与引当金の増減額 (△は減少)	666	687
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△16	59
受取利息及び受取配当金	△76	△64
支払利息	24	50
為替差損益 (△は益)	34	16
持分法による投資損益 (△は益)	211	55
投資事業組合運用損益 (△は益)	12	6
固定資産除却損	42	16
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,540	△107
投資有価証券評価損	39	1
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△72
関係会社株式評価損	—	6
持分変動損益 (△は益)	△13	△220
段階取得に係る差損益 (△は益)	20	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,351	△5,352
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△371	△103
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,734	△851
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,247	△204
その他	△2,992	563
小計	2,744	5,494
利息及び配当金の受取額	130	152
利息の支払額	△33	△33
法人税等の支払額	△1,656	△3,082
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,185	2,530

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△35	△100
定期預金の払戻による収入	14	—
有形固定資産の取得による支出	△1,352	△2,243
無形固定資産の取得による支出	△814	△518
投資有価証券の取得による支出	△320	△11
投資有価証券の売却による収入	1,557	102
関係会社株式の取得による支出	△55	△85
関係会社出資金の払込による支出	△1,288	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	209	—
差入保証金の差入による支出	△1,268	△1,000
差入保証金の回収による収入	415	92
貸付けによる支出	△52	△89
貸付金の回収による収入	77	45
その他の支出	△114	△227
その他の収入	103	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,925	△4,023
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	360	1,359
短期借入金の返済による支出	△803	△1,741
長期借入れによる収入	60	16,184
長期借入金の返済による支出	△1,733	△67
社債の発行による収入	48	—
非支配株主からの払込みによる収入	30	—
配当金の支払額	△1,373	△1,907
非支配株主への配当金の支払額	△50	△44
その他	△157	△216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,620	13,565
現金及び現金同等物に係る換算差額	△297	△413
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,657	11,658
現金及び現金同等物の期首残高	35,979	34,920
連結子会社と非連結子会社との合併による現金及び現金同等物の増加額	—	104
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,322	46,683

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	国内 関係会社	海外 関係会社	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	110,994	10,904	30,046	151,945	—	151,945
セグメント間の内部 売上高または振替高	378	1,854	2,472	4,705	△4,705	—
計	111,372	12,758	32,518	156,650	△4,705	151,945
セグメント利益	3,344	873	351	4,569	0	4,569

(注) 1 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	国内 関係会社	海外 関係会社	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	117,735	15,765	30,232	163,734	—	163,734
セグメント間の内部 売上高または振替高	551	3,106	2,335	5,994	△5,994	—
計	118,287	18,872	32,568	169,728	△5,994	163,734
セグメント利益	5,699	1,700	1,078	8,479	6	8,485

(注) 1 セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。